

3月11日に発生した東北関東大地震の犠牲となった方々に、謹んで哀悼の意を表します。
罹災されたみなさんに心からのお見舞いを申し上げます。

北朝鮮から逃避行

北海道在住 宮内紀也

終戦の日1945年8月15日、4歳9ヶ月であった。

現北朝鮮（国名省略）咸鏡北道の羅南市。ソ連国境に近く陸軍師団の駐屯地であった。朝鮮の人々の蜂起を恐れて山へ逃げた。数日して戻ってみると、陸軍師団には一兵も残っていなかった。朝鮮在住日本国民は遺棄された。その日からのことは今も鮮明に覚えている。

父は会社の指示でその日のうちに京城（ソウル）へ出発した。翌日乗る予定の鉄道が不通となった。祖父母、母、姉（小3）、兄（小1）、私、妹（2歳半）7名での逃避行（植民地からの離脱）が始まった。

行程の大半は徒歩である。一部鉄道が運行している区間もあった。その列車も無蓋車や有蓋車かまたはその屋根上だったこともあった。

金に換えられる物、食料と交換できる物等、幼子もそれ相応の荷が入ったリュックサックを背負って釜山をめざした。日本人団は、雨の日も雪の日も毎日約4里から6里歩いた。私たちは老人と幼児のため、先頭の人々が昼食を作り終えそろそろ出発しようかという頃に到着する有様で、半生のまま食べながら歩いた。口に入るものはなんでも食べた。杉の皮、草は勿論その根も掘り起こして食べた。

人が死んでも、冬は雪を掘って遺体に篋を被せ雪で覆うことしかできない。先を急ぐためだ。多くの人死んでいくのを見た。苦難の連続で気力が萎え、子供を捨てた人がいたと聞いた。

祖父母が「足手纏いになる」と高粱畑で剃刀自殺

した。妹は麻疹を拗らせて死んだ。途中で落ち合った叔父一家4人と母と兄が発疹チフスに罹患した。風呂に入らず、滅多に洗濯しない衣類はノミとシラミと南京虫の巣窟で当然の発病だった。兄の性器が小さなヤカン程に膨らんだ。母と叔父夫婦が病床で「どちらかが生き残ったら子供を頼む」と言い合っているのを聞いた。叔父一家は亡くなり母と兄は助かった。

その後、母がマラリアに罹患した。路傍で通りかかった人から特効薬キニーネを貰うことができた。奇跡に近いことだった。母が居ないと生きていけない年齢である。何時も危機の中にあった。私達は、幸運にも紙一重で潜り抜けることができた。

釜山からの多数の引揚船LST（米軍上陸用舟艇）内でコレラが流行った。人々は栄養失調だった。前の日一緒に遊んだ子が翌日下痢に苦しんで死んだ。日本本土を目の前にして佐世保港外で大勢の人が死んだ。母と姉がコレラに感染した。病院船に収容され、兄と二人きりとなった。この時も母と姉は回復し、漸く佐世保に上陸できた。こうして1年1ヶ月の逃避行は終わった。戦争はいつも弱者を虐げ、圧倒的多数の国民は死か苦難から逃れられなかった。

明治維新以来、富国強兵を唱え、日清戦争（朝鮮の植民地化）、日露戦争、日中戦争と何時も海外派兵を続け、戦勝を煽り立て、批判者を抑圧し、時のマスコミとともに国民の目を曇らせ暗ませて、第二次世界大戦へと暴走していった。

「戦争への反省は50年で薄まり、世代が替わると再び戦争を起こす」と聞いた。今また、北朝鮮のミサイル・核開発や中国の脅威を言い立てている。マスコミにも同調する論調が多い。私達が戦後65年大切に守ってきた「9条」改悪への誘導だと警戒している。

マスコミの報道について

横浜市在住 織方 弘道

マスコミの習性

今から6〜7年前、道路公団民営化問題の議論が盛んだった頃、マスコミの人達と頻りに接触する機会がありました。

その時に痛感させられたのは、有料道路のことも道路公団のことも全く知らない記者が多いことでした。やっと一通り分かりかけた頃には他の役所の担当に転勤、新人が来てまた一から勉強のやり直しです。これでは、まともな記事が書ける筈がありません。

最近のマスコミの報道でも、首を傾げたくなることが沢山あります。

民主党にとって、小沢一郎をめぐる「政治と金」の問題などは、解明が必要な最優先課題だった筈ですが、今では「いつまで内輪もめをしているのか」といった論調に変わって来たのは何故なのか理解に苦しみます。

特捜部による「国策捜査」の内幕が暴露され、そのお先棒を担いできたマスコミが必要以上に萎縮していると思えません。民主党の手際が悪過ぎたことも確かです。もっと早く結論を出しておくべきでした。

社会の木鐸

昔と言っても40年ほど前、ロッキード事件で田中角栄が逮捕されるきっかけになったのは、月刊誌「文芸春秋」の金脈問題を扱った記事でした。当時、新聞記者は「そんなことは前から分かっていたことだ」と嘯いていたそうです。「社会の木鐸」が聞いて呆れます。

昨年には、尖閣諸島の周辺で中国の漁船が日本の海上保安庁の船に体当たりしてくる事件が発生しま

した。マスコミが熱心に取り上げたのは、漁船が衝突する現場を撮った映像がインターネットに流失した「事件」でした。

背景にある中国の軍事力の増強の意図をもっと正確に取り上げるべきでしたし「日中間に領土問題は存在しない」などという政府見解を伝えるだけで済まされる問題ではないと思います。

戦争責任

もっと遡れば、何故、日本が満州事変から第二次世界大戦にのめり込むに至ったのか、マスコミが最も深刻に反省すべき重要な宿題が残されています。

「鬼畜米英」「大東亜共栄圏」などと書きまくり、大本営発表を忠実に宣伝してくれました。それを信じ込んでいた我々も愚かではありました。

毎年、原爆の日から終戦の日にかけて特集が組まれたりしますが、その時期だけの年中行事に終わっていないでしょうか。

当時、言論の弾圧が強化され、軍部に批判的な記事でも書こうものなら憲兵隊に引張られるご時世でしたから、一概に責める訳にも行きませんが、気骨のあるマスコミ人が少なかったのは残念です。

終戦直後に、朝日の記者だった むのたけじ (1915〜) が記者としての戦争責任を感じて退社し、以来、郷里の秋田に帰って今でも言論活動を続けておられるのは敬服に値します。

マスコミに代わるもの？

問題は、日本では今でもマスコミの影響力が圧倒的に大きいことです。特に、宅配制度に支えられた新聞は、先細りと言われながら発言力は強大です。これに代わる言論の手段は無いものでしょうか。

内部告発サイト「ウイキリークス」の出現などが注目されていますし、最近、中国やエジプトなどの民主化運動に関して、インターネットを通じた情報伝達の役割が大きいと伝えられます。デモや集会の呼びかけがこの手段で行われているというのです。

日本の若者の間でネットを通じて社会的、政治的な意思表示が行われるとは、にわかには信じられないのですが、マスコミに代わる手段が無いとすれば、これに期待するしか無いのかも知れません。

幸い、戦後生まれの団塊の世代が定年を迎える時代が来ました。高齢者に較べれば、知力、体力など

3面に続く



すべての面で優れ、時間もふんだんに持っています。何よりも **Twitter** とか **Facebook** などの新しいコミュニケーション手段を、少しは身近に体験している筈です。

戦時中、マスコミの尻馬に乗せられて「欲しがりません勝つまでは」「一億玉砕」などと叫んでいた高齢者は、罪滅ぼしのためにできる限りの協力をしなければなりませんまい。

田中正造について思う

千葉県在住 清水 界

田中正造という名を耳にしたことのない人は、おそらくおられないことでしょう。名誉も地位も富貴も金銭も求めず、ただ働く農民、大衆の一人として類いまれな指導力を発揮した、近世日本の最大の偉人だと私は思っています。近年の政治家たちに「爪の垢の1片」でも飲ませてやりたいものです。

そもそも理由のない差別や迫害、抑圧はまったく卑劣で、反社会的な行為だと私は思います。そのわけを今書こうというわけではありません。今回は、あくまで正造に焦点を絞りたいと思います。

来年**2013**年はこの偉人の没後**100**年に当たりますが、先日**2月20日**、田中正造生誕の地、栃木県佐野市で、あるシンポジウムがあり聞きに行ってきました。

正造は渡良瀬川の鉱毒被害救済に生涯をささげたことで知られています。しかし、正造は、この鉱毒救済の活動の中で、当時としては想像もできないほどの広い視野で日本や世界の現状を見つめ、アジアや世界の同じ民衆の苦しみに深い共感を示していることを知りました。

韓国併合（**1910**年）の際には、国に農地を奪われた谷中村の人たちの目で朝鮮の人たちに共感を寄せ、「涙下らざるを得ず」と、ある手紙に書いています（**1910**年**6月6日**）。

また、日露戦争さ中の**1905**年**1月16日**に起こったロシアの「血の日曜日」事件に対して、「露政府の暴挙にして請願人を虐殺す。之決して露都の事として見るべからざるなり。我国も亦將に相同じ。予は



田中正造 大正元年撮影

泣いて日露両国の貧民に代りて両国の義人に訴うるものなり」と書き、また日露戦争（**1904-05**）を侵略戦争と断じ、「戦争の罪悪は論を要せず」、「政府にしてみだりに人民を殺すことを敢てするものの戦争を奨励するに至りて言語道断なり」と手紙に書いて（**1904**年**11月26日**）、アジアの近隣諸国を侵略して「大日本帝国」となる道を拒否しました。

これだけでも彼が谷中村の鉱毒被害救済の活動の中から、世界の平和へとその考えを広げていった軌跡を覗うことができますと思います。

正造の時代から**100**年を経た現在でも、日露戦争を「ロシアの南下の脅威と暴虐、それに対するやむをえない日本の自衛」という構図（戸崎賢二元 NHK デイレクターの「テレビ時評」）で描くドラマ「坂の上の雲」の見方と比べてみてください。

正造は、第一次世界大戦（**1914-1918**）の前夜、**1913**年**9月4日**に**71**才で亡くなりました。葬儀参列者数は**5**万人、葬儀委員だけでも**631**人だったそうです。その前年の**1912**年**4月**には石川啄木が**26**才で亡くなっています。この啄木も正造には中学生の時から大なる関心を示し、**1902**年、**17**才、盛岡中**4**年の時、前年の正造の「天皇直訴事件」に感動し学内でカンパ活動をしています。

ちなみに、徳川最後の将軍、慶喜は正造とほぼ同時代を生き、正造の死の**2**カ月後に亡くなっています。これは余談。

[参考]

田中正造 **1841**年（天保**12**）**11月3日**－**1913**年（大正**02**）**9月04日** **71**才**10**か月
石川啄木 **1886**年（明治**19**）**2月20日**－**1912**年（明治**45**）**4月13日** **26**才**02**か月
徳川慶喜 **1837**年（天保**08**）**9月29日**－**1913**年（大正**2**）**11月22日** **76**才**01**か月

広島・長崎のこと

東京都在住 森川美信

広島に行く機会がある時には、素通りするだけになっても極力原爆ドームの近くに足を運びます。

資料館では、8時15分を指したまま止まった時計、階段に残された人の影、被爆された方の描かれた絵、言葉などが原爆の被害の悲惨さを伝えます。原爆死没者慰霊碑の前に立って、後ろに広島平和記念資料館、正面の慰霊碑の先に平和の灯、原爆ドームとまっすぐに並んでいるのを見ると自然に両手を合わせています。

現在は緑の多い公園になっている場所が被爆前には、にぎやかな繁華街であったことを昨年CG上で町並みが復元されて、失ったものを蘇らせました。

長崎では、山里小学校の防空壕

運動場の横を通って行くのですが、少年達が野球の試合をしていて、その応援の母親らしいグループから、カバン、カメラを持った私に「ご苦労様です」と声を掛けられました。浦上天主堂では、被爆して落下したマリア像の頭部が、鼻が折れ、焼けたままで礼拝堂の場に置かれ、その前で礼拝が行われていました。被爆したことが人・宗教生活に生きている感を受けました。

資料館では、小学生くらいの男の子が亡骸となった幼い弟をひもで負ぶって、くちびるをかみ締め、裸足で「気をつけ」の姿勢で立っている写真、火葬の順番を待っているという説明に男の子に対する畏敬の念とその状況に対するやりきれなさを強く感じました。

丸木美術館（埼玉県東松山市）のボランティアをしています

丸木美術館は丸木位里・俊夫妻の描いた「原爆の図」などの展示が中心になっています。美術館では、夫妻や他の作者の企画展や、イベントがあります。私のしていることは、美術館発行するニュースやその他の印刷物を発送のため、封筒に詰める作業や展示替えの際の作品の移動、

設置、撤去などの作業です。

私より年上の人から20代の人まで幅広い集まりになっていて、年齢の異なる人からいろいろな刺激を受けとっています。8月6日には「ひろしま忌」が開かれ、このイベントでは4年連続で駐車場係です。去年は来客が多く、初めて駐車マスが不足したために、急遽近接するお寺の駐車場をお借りして間に合った次第です。核兵器に対する関心の強まりを現しているのかと嬉しく感じました。

今後、できることをして行きたいと思いません。

最近の主な出来事

- ◎ 2010年11月23日、北朝鮮は黄海に面した海岸から韓国側が支配する延坪島に砲撃。韓国軍が応戦し、韓国軍兵士2名死亡し、16名が重軽傷を負い、民間人にも負傷者が出た。
- ◎ 11月28日、沖縄県知事選が行われ、2期目をめざした現職の仲井真弘多氏が当選した。また、宜野湾市長には、革新市政の継承・発展をめざす安里猛氏が初当選した。
- ◎ 11月30日、外務省は1969年に西ドイツと核武装の可能性について議論していたことを認める報告書を公表した。
- ◎ 12月17日、政府は今後10年間の日本の軍事力のあり方を示す新たな「防衛計画の大綱」を閣議決定した。中国の軍事的脅威に懸念を表明し、南西諸島に部隊増強などを盛り込んでいる。中国外務省は「中国に対し、無責任にあれこれ言う権利は無い」と強い調子で反発した。
- ◎ 2011年2月13日付沖縄地元紙、鳩山前首相はインタビューで米軍普天間基地の「県外・国外移設」を断念した理由として沖縄米海兵隊の「抑止力」の重要性を挙げたことについて「方便だった」と語った。

会の活動費の大部分は、「会報」の発行・送料に使われています。金額の大小を問わず協賛金にご協力をお願いします。

協賛金振込口座 ちば興業銀行 佐原（さわら）支店・（店番号820）

口座名義 西岡幸雄（ニシオカユキオ） 口座番号 普通預金 1016510